

ESA/SMA/WSA のハード ドライブ交換

目次

[はじめに](#)

[2U アプライアンスのハード ドライブを交換して下さい](#)

[1U アプライアンスのハード ドライブを交換して下さい](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、1U および 2U アプライアンスでハード ドライブを交換する方法について説明します。

2U アプライアンスのハード ドライブを交換して下さい

E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) : C3x0、C6x0、X10x0

セキュリティ管理 アプライアンス (SMA) : M6x0、M10x0

Web セキュリティ アプライアンス (WSA) : S3x0、S6x0

2U アプライアンスの Redundant Array of Independent Disk (RAID) は基づくハードウェアです。ハード ドライブは熱い取り外し可能およびホットスワップ対応です。

1. 正常な動作の間に、オリジナル ハード ドライブの掛け金を外し、取除いて下さい。
2. RMA ハード ドライブを挿入して下さい、適切な着席を保証すればドライブは受けとられます。

示す短い時刻以降に、RAID コンテナは再製されていることを光は点滅し始めます。改造が発生する間、より多くの RAID アラートを受け取るかもしれませんがこれは正常です。改造は使用中システムのメール スループットを遅らせるかもしれませんが正常な動作に他では効果をもたらしません。このプロセスは少数の時間がかかる場合があります。それが完了した後、RAID アラートはもはや発生するはずです。

注: 2つ以上のハード ドライブが失敗する場合、1つのハード ドライブだけ一度に交換して下さい。RAID 改造が交換される最初のハード ドライブから完了するまで第 2 ハード ドライブを交換しないで下さい。version コマンドで CLI からの RAID ステータスを監視できます。

ドライブ レイアウトの例:



示されている *X1070

注: 示されているように X1070 は完全に読み込まれたアプライアンスです。すべてのアプライアンス モデルが完全に読み込まれたドライブ ベイ設定がありません。未使用湾のためのドライブトレイ挿入があります。アプライアンスによって利用されないこれらの湾にハードドライブを取除きませんでしたり、または挿入しないで下さい。

1U アプライアンスのハードドライブを交換して下さい

ESA: C170

SMA: M170

WSA: S170

注: ESA C160、SMA M160、または WSA S160 のハードドライブは Return Material Authorization (RMA) のために適格ではありません。アプライアンスが有効なサポート 契約の下でそれでもカバーされる場合、アプライアンスは取り替える必要があります。

C170、M170 および S170 の RAID は基づくソフトウェアです。HDDs はホットスワップ対応、それらです熱交換可能ではありません。

注意: 壊れるハードディスクドライブをできるだけ早く交換することをお勧めします; さもないと、残りのハードディスクドライブが失敗した、データはすべて失われます。

(取り替える) ハードディスクドライブをインストールするために Cisco 170 シリーズ取除き、アプライアンス、次の手順に従って下さい:

1. **アプライアンスをですオンライン確認して下さい。**
2. Cisco 170 シリーズ アプライアンスのフロントパネルから、bay の右側のボタンを押すことによってハードディスクドライブを取除いて下さいレバーがリリースされるまで。ハードディスクドライブを引き出して下さい。-アラートは生成されます。
3. アプライアンスに障害が発生したドライブの削除の後でログインし、アプライアンスを停止して下さい。
4. アプライアンスが Cisco 170 シリーズ アプライアンスのフロントパネルでを離れて、動力を与えられた後、ハードディスクドライブ bay が付いているハードディスクドライブ キャリアを並べ、つくまでそれを押して下さい。インポートにレバーを押して下さい。
5. 新しいハードディスクのインストールの後で、アプライアンスで電源を回して下さい。

6. Cisco 170 シリーズ アプライアンスのフロントパネルで、HDD1 および HDD0 インディケータがハードディスクドライブが現在アクティブであることを示す点滅する グリーンであることを確かめて下さい。

示す短い時刻以降に、RAID コンテナは再製されていることを光は点滅し始めます。改造が発生する間、より多くの RAID アラートを受け取るかもしれませんがこれは正常です。改造は使用中システムのメール スループットを遅らせるかもしれませんが正常な動作に他では効果をもたらしません。このプロセスは少数の時間がかかる場合があります。それが完了した後、RAID アラートはもはや発生するはずです。

ドライブ レイアウトの例:



示されている *C170

関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)